

2026年4月3日
東日本旅客鉄道株式会社

信号システムの条件設定に関する調査の進捗について

2025年10月5日に東急田園都市線梶が谷駅構内で発生した信号システムの条件設定不備による列車衝突事故を受け、同種箇所の調査を行っています。

調査の進捗についてお知らせします。

1 調査概要とこれまでの経緯

列車が分岐器付近の予期しない箇所で停車した際、接触する可能性のある列車に停止信号を出すよう信号システムの条件設定等を行っています。(別紙1)

本調査では、設定図面の確認と現地設備の確認により、信号システムの条件設定に誤りがないことを確認します。

対象箇所：899 駅※（在来線 865 駅、新幹線 34 駅）

※信号場、車両センター等を含み、営業列車に影響のない範囲を除く

2025年10月末時点で、対象箇所全駅の設定図面について確認を完了し、新幹線全34駅の現地設備について確認を完了しました。在来線865駅において現地設備の確認を進めています。

【参考】信号システムの条件設定に関する調査状況について（2025年11月7日発表）

https://www.jreast.co.jp/press/2025/20251107_ho01.pdf

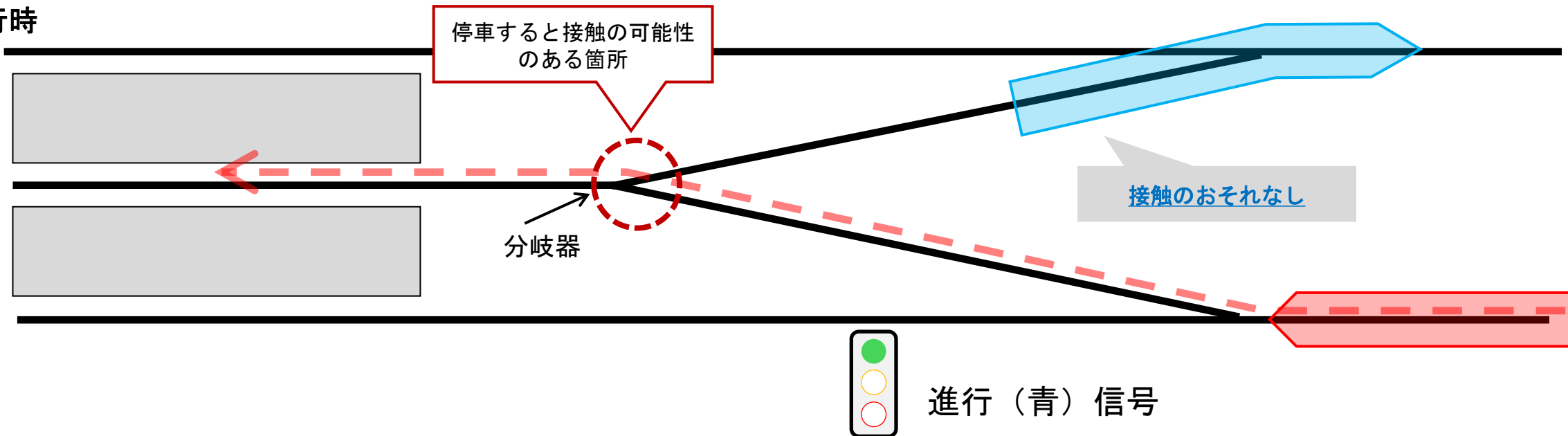
2 調査の進捗

2026年3月末までに、在来線758駅において現地設備の確認を完了しました。この間の調査により、15駅において信号システムの条件設定に不十分な箇所があることを確認しました(別紙2)。いずれの箇所も対策を行い、不備を解消しており列車運行の安全に支障はなく、運行計画にも影響はありません。

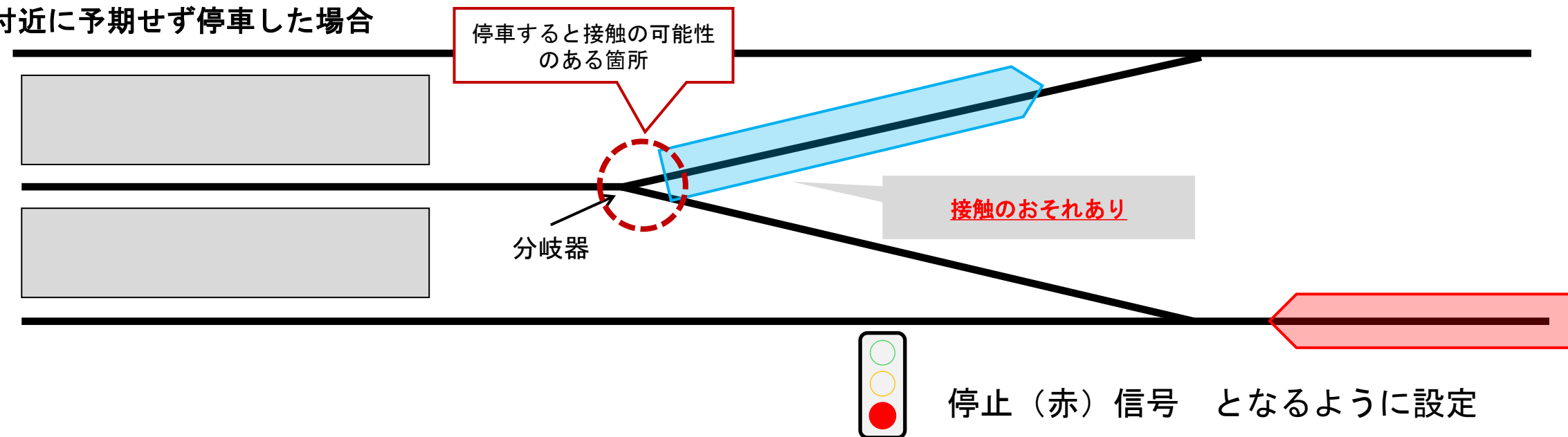
3 今後について

引き続き、残る在来線107駅を対象に、現地設備の確認を実施いたします。確認体制の強化や点群データの活用等により調査が順調に進んでおり、当初は2026年度上半期までとしていた完了時期について、2026年度第1四半期中に完了する見込みです。

通常運行時



分岐器付近に予期せず停車した場合



信号システムの条件設定に不十分な箇所があることを確認した駅

	路線名	駅名	備考
1	上越線	水上駅	2025. 11. 7発表済
2	高崎線	熊谷駅	2025. 11. 7発表済
3	中央本線	山梨市駅	
4	東海道本線	根府川駅	
5	横須賀線	逗子駅	
6	常磐線	荒川沖駅	
7	東金線	東金駅	
8	奥羽本線	庭坂駅	
9	根岸線	根岸駅	
10	陸羽東線	北浦駅	
11	中央本線	中野駅	
12	武蔵野線	梶ヶ谷貨物ターミナル駅	
13	水戸線	新治駅	
14	鶴見線	浅野駅	※暫定対策済み 今後恒久対策を予定
15	東北本線	名取駅	